

令和5年度かいぼり結果概要報告【石神井公園：新池（水辺観察園）】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和5年11月25日（土）

【天 候】 晴れ

【当日参加者数】

ボランティア 12 人・関係者 36 人

2. 結果概要

【水 質】 かいぼり実施後、T-P や SS の値が向上しました。一方、透視度・COD・BOD・DO などは基準値内ではあるものの、状態の低下が見られました。このように一部の項目では数値の向上が見られたものの、かいぼり直後で水質が安定せずに低下した項目もありました。引き続きモニタリング調査を行い、変化を確認していきます。

【水生生物】 前回のかいぼり実施時の捕獲種数は 16 種類でしたが、今回は在来種が 6 種類、外来種が 1 種類増加し、全体で 23 種類でした。個体数では、外来種のカワリヌマエビ属が増加していましたが、条件付特定外来生物であるアメリカザリガニは減少していました。一方で、在来種ではスジエビやモツゴの個体数が増加し、ミヤケミズムシなど都内では希少な水生生物も確認されました。

3. 調査・捕獲結果

水質

項目	単位	令和5年度	
		かいぼり前	かいぼり後
調査日		R5.11.6	R6.2.19
天候		晴	雨
気温	℃	22.0	14.0
水深	m	0.33	0.11
水温	℃	19.0	14.0
透視度	cm	>100	>100
ORP(酸化還元電位)	mV	+393	+386
pH(水素イオン指数)	pH	8.0	8.2
COD(100℃における過マンガン酸カリウムによる酸素消費量)	mg/L	1.4	1.8
BOD(生物化学的酸素消費量)	mg/L	< 0.5	0.6
T-N (全窒素)	mg/L	0.93	0.38
T-P (全リン)	mg/L	0.057	0.036
DO(溶存酸素)	mg/L	8.7	8.3
SS(浮遊物質)	mg/L	3	<1



捕獲作業



仕分け・同定作業

捕獲した生物と個体数（全数捕獲調査）

和名	平成30年度	令和5年度	重要種			外来種 ※3
	かいぼり時	かいぼり時	環境省RL (2020) ※1	東京都RDB (2023) ※2		
	H30.11.17	R5.12.16		多摩部 北多摩	本土部	
ハリガネムシ目		2				
ミズミズ科		12				
カワリヌマエビ属	5,975	10,309				○
ヌカエビ	77			留意	留意	
テナガエビ	24	572		留意	留意	
スジエビ	1,811	2,702		留意	留意	
アメリカザリガニ	304	17				○
サワガニ	1			留意	留意	
クロイトトンボ		2				
コオニヤンマ	1	1				
シオカラトンボ	1	1				
コシアキトンボ		2				
ミヤケミズムシ		15	NT	CR	CR	
ネグロセンブリ				VU	VU	
センブリ属		1				
ヌカカ科		1				
ユスリカ科		16				
ギンブナ	282	44		DD	DD	
モツゴ	1,025	2,965				
タモロコ	540	15				(○)※
タウナギ(本土産)	2					○
メダカ類	311	2,541	(VU)	(CR)	(CR)	(○)※
ブルーギル		2				○
オオクチバス	1	1				○
ヌマチチブ	3	3		留意	留意	(○)※
トウヨシノボリ類	3,577			VU	EN	
ヨシノボリ属		84				
カムルチー		1		VU	EN	○



スジエビ



アメリカザリガニ



ミヤケミズムシ

※1 環境省レッドリスト 2020 ※2 東京レッドデータブック 2023

※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと

※4 在来種だが移入された可能性あり